

事務事業名		総合計画策定事業		所属部	政策企画部	所属課	政策推進課				
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	政策推進G	課長名	熱田 勇二				
	施策名	〈07〉計画的なまちづくり		担当者名	高橋 祐二	電話番号	0854-40-1011				
	目的	対象	市	意図	計画的に目標を達成する。						
	基本事業名	〈021〉基本計画の策定と進行管理		予算科目	会計	款	大事業	大事業名			
目的	対象	施策	意図	計画的に施策を展開する。			中事業	中事業名			
					0	1	1	0	0	1	企業総務管理事業
					0	5	3	5	0	3	総合企画調整事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 年度 ~ 26 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
平成26年度で現総合計画の期間が終了することから、平成27年度から平成36年度までの10年間のまちづくり指針となる総合計画を策定する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) 総合計画基本構想・基本計画策定 ・策定委員会(7回) ・先進地視察(相生市・NPOグリーンハレー) ・計画本編印刷(1,000部) ・計画概要版印刷(15,000部) ・計画ポスター印刷(500枚)	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 平成26年度で終了。				
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	ア	総合計画策定委員会数	回		10	7	-
	イ	住民意識調査発送数	通		1,000	-	-
	ウ	住民意識調査発送数回答率	%		39	-	-
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	雲南市の将来像(政策別)	ア	政策数	本		5	5	-
		イ	施策数	本		39	39	-
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)		
第2次雲南市総合計画(基本構想・基本計画)を策定する。	ア	総合計画本編	冊		0	1,000	-	
	イ	総合計画概要版	冊		0	15,000	-	
	ウ	総合計画ポスター	枚		0	500	-	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
総合計画策定委員会委員報酬 412千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
総合計画策定委員会委員費用弁償等旅費 259千円		県支出金	千円			
需用費等事務費 149千円		地方債	千円			
策定支援業務委託料 5,792千円		その他	千円			
視察バス借上料 190千円		一般財源	千円		2,069	6,802
計 6,802千円	事業費計(A)	千円		2,069	6,802	
	人件費	正規職員従事人数	人		5	5
		延べ業務時間	時間		600	700
		人件費計(B)	千円		2,336	2,722
	トータルコスト(A)+(B)	千円		4,405	9,524	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成23年5月に地方自治法の改正により、策定を義務付ける規定が廃止され、法的位置付けを喪失した	雲南市まちづくり基本条例に基づき、市民との協働により策定を行う。	幅広く市民や議会の意見を聴き作成してほしいとの声がある。

事務事業名	総合計画策定事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	策定に向けた助言・指導やデータの解析業務などの専門的業務はノウハウを持つ民間(コンサルタント)へ委託しており、これ以上の成果の向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	総合計画は市が策定する最上位の計画で、今後のまちづくりの指針として施策の方向性や事業内容を明らかにするため必要があり、廃止できない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	総合計画は、市が策定する最上位の計画であり、類似事業はない。		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は、総合計画を策定するための必要最低限の事業費であるため削減余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	本市の総合計画の策定であるため、事前準備等は職員が対応する必要がある。また、専門的な業務は可能な限り外部委託をしており、人件費の削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	策定にあたり、可能な限り幅広く市民の意見を聴取しており、公平・公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
多くの市民の皆さんの参画と意見等を頂き、平成26年度に、今後の雲南市のまちづくりの指針となる本事業の目的であった第2次雲南市総合計画を策定できた。				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
平成26年度に本事業の目的であった第2次雲南市総合計画の策定を完了した。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		